



©Yuki Asada

## 黄色い金、祖国の目覚め

モンゴルは草原の国。冬は極寒、夏は酷暑の乾燥した高原地帯に、ただ草ばかりが風にそよぐ。そんな厳しい環境の中、地元の人々が薬効あらかたな「黄色い金」として愛用してきたのがツァツアルガンだ。英語ではシーバックソーン、あるいはシーベリーとも呼ばれる。グミの親戚で、ビタミン、ミネラルのほか、自然界でも珍しいオメガ7脂肪酸をはじめとした豊富な抗酸化物質を含む黄色い実をつける。

「モンゴルでは、風邪を引いたときにツァツアルガンのジュースを飲みます」と話してくれたのは、この果実を生かした化粧品・健康食品の企業を立ち上げたボロルトゥヤ・ドルジスレンさんだ。「私も小さい頃から、ツァツアルガンを飲んで育ちました。アメリカの大学を卒業して化粧品会社に勤

めていたのですが、ツァツアルガンの農場を営む父に、モンゴルに戻って国のための事業をしてみないかと言われて、起業を決意したのです」。3年前にシーベリーファームプロダクツ社を立ち上げたドルジスレンさんは、ツァツアルガンを材料に、モンゴルならではの化粧品開発を始めた。

自然環境の厳しいモンゴルでは、酪農以外の農業は発展途上だ。野菜・果物はもちろん、医薬品や健康食品も多くを輸入している。ドルジスレンさんは、モンゴルの人たちに国産の化粧品・健康食品を提供するとともに、鉱物資源に依存しがちな経済の新たな柱として、モンゴルならではの農業育成を目指している。「モンゴル発、健康のワンストップショップへ」。黄色い金が、モンゴル農業の未来を拓く。



首都ウランバートルの旗艦店では、化粧品からヘアケア、健康食品、ジュースに至るまで、幅広い商品を販売するほか、エステサロンも運営している

- ★モンゴルのツァツアルガン・カプセルとエキスを2人にプレゼント! →詳細は38ページへ
- ★シーベリーファームプロダクツ社の商品は現在、同社ホームページからオーダーできます。まもなく日本での販売も開始される予定です。  
<http://www.seaberryfarmproducts.com/>

